

令和6年度南砺市農業再生協議会 通常総会 議事録

1 総会の種類 通常総会

2 開催の日時 令和6年6月26日(水) 午後2時から午後3時10分まで

3 開催の場所 南砺市役所 別館 3階 大ホール

4 出席会員について

(1) 会員数 11名

(2) 出席会員 10名

氏名	職名	氏名	職名
岩佐 崇	南砺市ブランド戦略部長 南砺市担い手育成総合支援協議会長	岡村 俊一	南砺市農業委員会長
上田 憲仁	なんと農業協同組合 代表理事組合長 なんと地域水田農業推進協議会長	幅田 浩司	福光農業協同組合 代表理事組合長 福光水田農業推進協議会長
齊藤 一夫	南砺市農業者会長	土田 英雄 (代理:古瀬 悟)	となみ野農業協同組合 代表理事組合長 となみ野地域水田農業推進協議会長
岩崎 修	富山県農業共済組合理事	神村 善一	農業法人等代表 (有)ファームズエンジニア福光代表取締役)
松井 義典	集落営農組織代表 (福光協業組織協議会長)	定司 俊憲	土地改良区代表 (南砺市土地改良区理事長)

(3) 委任状 1名

氏名	職名	氏名	職名
上口 長博	山間地域農業組織代表 (公財)五箇山農業公社理事長)		

(4) 助言者 3名

氏名	職名	氏名	職名
漆間 利明	北陸農政局 地方参事官(富山県担当)	石黒 好美	北陸農政局富山県拠点 農政推進官
川嶋 徹	富山県砺波農林振興センター次長		

(5) 事務局

- 中島 吉範 南砺市農業再生協議会幹事長(南砺市ブランド戦略部農政課長)
- 谷口 繁慶 南砺市農業再生協議会事務局長(南砺市ブランド戦略部農政課農政係長)
- 久保 明子 南砺市農業再生協議会事務局(南砺市ブランド戦略部農政課農産振興係長)
- 宮崎 秀樹 南砺市農業再生協議会事務局(南砺市ブランド戦略部農政課農政係)

5 通常総会次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 議長選出
- (4) 議事録署名人の選任
- (5) 議事
議案第1号 令和5年度事業報告及び収支決算について
議案第2号 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- (6) その他
- (7) 閉会

6 審議経過

(1) 開会

午後2時、中島幹事長から令和6年度南砺市農業再生協議会の通常総会の開会が宣言された。

(2) 挨拶 岩佐会長

本日、皆様方には何かとご予定がある中、ご出席をいただきましてありがとうございます。昨年の夏は、大変暑い夏となりまして、高温障害でコメの品質に大変影響を与えたところがございます。今年も今のところ降雨量が少なく、水不足が懸念される所でございます。本日は、令和6年度の事業計画と収支予算等につきまして協議をいただくこととなります。慎重審議の上、どうぞよろしくお願いいたします。

(3) 議長選出

中島幹事長から会員11名のうち出席10名、委任状提出1名であり、出席が会員の過半数を超えており、南砺市農業再生協議会規約第15条第1項により本総会が成立する旨報告された。続いて、総会の議長については、本規約第13条第2項に総会の出席会員の中から選出するとあるが、慣例では、会長が議長を務めているので、本総会も岩佐会長を議長とする旨諮ったところ、全会一致で承認され、岩佐会長を議長として選出した。議長から議事の円滑な進行への協力をお願いする旨挨拶があり、その後、議事録署名人の選任に入った。

(4) 議事録署名人の選任

議長から本会の議事録署名人として、上田憲仁氏及び齊藤一夫氏の両氏を指名し、出席者の了解を得た後、議案の審議に入った。

(5) 議事

【議案第1号 令和5年度事業報告及び収支決算について】

議長が議案第1号を上程し、事務局から令和5年度事業報告及び収支決算についての説明がされた。

議長から質疑に入る前に監査報告を求め、監事の上田憲仁氏から令和6年6月25日に監査を

実施し、適正であると認めた旨、報告された。

その後質疑に入った。

質疑はなく議案第1号は全員の拍手をもって承認可決された。

【議案第2号 令和6年度事業計画及び収支予算について】

議長が議案第2号を上程し、事務局から令和6年度事業計画案及び収支予算案についての説明がされた。

その後、議案に対する質疑に入った。

A会員より 推進事務費の削減について、人件費の高騰、作業効率化が進まない。このままでは水田協事務は農協において受託が困難になる旨の発言があり、見解を問われた。

質問に対し、事務局より推進事務費はこれまで富山県は全国的にみても取組が進んでおり、全国上位の予算が配分されていた。国においては推進事務の効率化を推進しており、事務費の全国平準化を進める方針であることから予算確保が困難であった旨を説明。

また、それぞれの地域の実情にあった農業ビジョンを描いている現在の形は崩すべきではなく、市1本化になると平準化が進み地域農業の特性が失われてしまう恐れがあり、現在の形を守っていくことが最善であるとの考えから、事務効率改善を強力に進めてもらうよう国、県に働きかけていく旨を説明。

引き続き、北陸農政局 漆間地方参事官より、国全体として予算が削減され、配分そのものが全国的に減っている。これまで事業費に見合う分の事務費を確保してこられたが、事業費全体も少しずつ減ってきている。地方では厳しい状況であることは本局だけでなく本省の方にも県拠点から直接伝えている旨を説明。

B会員より予算が前年度に対して大きく削減されていることに対し、農業者への支援が十分に行うことができるのか見解を問われる。

質問に対し、事務局より県の新たな支援策の計画が検討されていること。再生協議会としては国、県、市の方で事業化され事業を進めていくときには、補正予算で対応する旨を説明した。

その後、質疑はなく議案第2号は全員の拍手をもって承認可決された。

(6) その他

議長から助言者である北陸農政局富山県拠点へ農業情勢と資料についての説明を依頼し、漆間地方参事官から令和6年度産に向けた水田農業の取組について、米の需給見通し、作付転換や民間在庫の状況、取引価格等、米をめぐる状況について説明がなされた。また、食料・農業・農村基本法の一部を改正する法律の概要について話をいただいた。

次に、議長から同じく助言者である富山県砺波農林振興センターへ農業情勢についての説明を依頼し、川嶋次長から大麦の作付け状況、食料・農業・農村基本法の一部を改正する法律への県の対応状況について報告された。また、市事業の集落営農再生塾の実施についても全面的な協力を確約いただいた。

議長から出席の会員へ意見を求めた。

C会員から今年度のコメ新市場開拓等促進事業・畑作物産地形成促進事業の不採択結果につ

いて説明を求められた。

北陸農政局富山県拠点漆間参事官より、予算額に対して要望額がかなり上回っていた状況および、事業要望についてそれぞれポイントごとに全国的に上から順番に採択された結果、富山県事業の一部採択が見送られた経緯の説明がなされ、推進事務費と同様に本局だけでなく本省の方にも県拠点から直接伝えている旨を説明された。

D会員より、市内の土地改良事業の現状について説明があり、県内、要望地区が多く採択件数が限られていること、採択要件として高収益作物への転換、農地集約化の推進が求められている旨の説明があり、農業再生協議会とも情報共有が重要との意見をいただいた。

事務局より、現在作成中の地域計画と関連する部分でもあり、農家の所得を確保するためにも、また、農地基盤整備が進むよう関連機関が一体となって協力していくことをお願いした。

議長は、全ての議事が終了したので、議事の進行に対する謝辞を述べ、降壇した。

(7) 閉会

午後3時10分 中島幹事長から令和6年度南砺市農業再生協議会の通常総会の閉会が宣言された。